

### グローバル人材育成プログラム に参加して

岩本友貴  
Yuki IWAMOTO  
機械システム工学科 3年

#### 1. はじめに

2016年8月11日(木)から29日(月)までの約3週間、アメリカ合衆国、カリフォルニア州ベイエリアでグローバル人材育成プログラムに参加した。今回このプログラムに参加した主な目的は、インターンシップやホームステイを通しグローバル人材に必要なものは何か、そして世界で活躍できる日本人に必要なものは何かということを学ぶといったことであった。

#### 2. 志望動機

今回私がこのプログラムに参加した理由は、父親が海外出張へ行くことが多く、その姿に憧れ海外へ行きたいと思ったためである。海外旅行へ行く事は何度かあったがホームステイや留学の経験がなく、学生の間にも一度経験しておきたいと思い参加した。また、自分自身も将来海外で働きたいと思っているので、海外で働くことを体験することで課題を見つけたいと思ったからである。

#### 3. 目的

私が今回渡航するにあたり次のことを目的とした。「海外で働く日本人の方の考え方を知る」、「働き方のちがいを、価値観を学ぶ」、「積極的に英語を使って現地の方とのコミュニケーションをとる」、「失敗から学ぶことを経験する」。そして、本当のグローバル人材とはどういったものかを知り、今自分に足りないものは何かを見つけ出すことを目的とした。

#### 4. 講演会

8月13日(土)に研修生が宿泊していたホテルのミーティングルームにてカリフォルニア州で起業し活躍されている戸村様、工藤様、外園様の講演会が行われた。講演の際はとても緊張しながら話を聞いていたが、食事会の席で個別に話を聞くことで、様々なことを質問することができた。特に戸村様は年齢が近いこともあり、とても面白い話を聞かせていただいた。そして3人の方々の話を聞くことで就職に関する考え、進学に関する考え、起業という選択肢の3つの考え方を持つことができた。渡航3日目にして考え方が180度変わるような体験ができたのでとても良い経験となった。

#### 5. ホームステイ

8月13日(土)の講演会が終わった後、研修生はそれぞれホームステイ先へと移動した。私がホームステイさせていただいた家庭はフィリピン系アメリカ人の方で両親と3人の息子さんたちの5人家族であった。3人の息子さん達は私よりも年上で、上の2人の息子さんはすでに独立されていて家には一番下の息子さんだけであった。そしてもう1人の日本人の方がホームステイされていた。上の2人の息子さんたちは、何度か実家に帰ってきていたので色々なところへ連れて行っていただいた。家族全員と仲良くさせていただき何不自由ない生活をする事ができ、短い間ではあったが本当の家族のように接して頂けてとても嬉しかった。もう一人の日本人の方にはアメリカでの生活のことや仕事のことを聞けたので、日本人の目線から見た生活も学ぶことができて大変嬉しかった。これまで旅行の時にしか英語を使ってこなかったがこの研修ではホストファミリーの方たちとたくさんコミュニケーションを取ることで積極的に英語を話すことができるようになった。

#### 6. 企業研修

8月15日(月)から26日(金)までの10日間、



図1 実習先での集合写真

私は Systema America Inc. という企業で実習をさせていただいた。企業での集合写真を図1に示す。ここは、スマートフォンのアプリケーションなどを取り扱われている企業であった。私がいただいた作業は、まず企画発表に用いる PowerPoint の製作であった。これまで PowerPoint を使ったことがなかったので最初は作業が難しかったが、慣れてくると誰が見てもわかるようなスライドを作れるようになっていた。そして次に英語で書かれているウェブサイトを日本語に訳してまとめるという作業を行った。これも今までやったことのない作業だったので、少々難しかったが、徐々に慣れてきて、簡単なものであればできるようになった。最後にさせていただいた作業は、英語のウェブサイトを日本語へ翻訳していく作業であった。この作業では、ウェブサイトで用いられている単語をいくつか覚えることができた。

## 7. 実習を終えて

今回の実習では、日本ではできない経験をさせていただいた。平日の企業での実習だけでなく、休日にも企業の方に遊びに誘っていただいたり、仕事後にご飯に誘っていただいたりととても楽しく過ごすことができた。昼食時もバイリンガルの社員の方に英語のゲームに誘っていただいてとても有意義なものとなった。堅苦しい実習にならずに済んだおかげで、アメリカで仕事をしてアメリカに住むといったことについて色々な話が聞けたと思う。海外での生活、企業実習を通して様々な経験をすることができ、収穫の多いインターンシップとなった。

## 8. おわりに

今回このプログラムに参加する目的として、「グローバル人材に必要なものは何か」を見つけ出すことを設定した。実習を終えて得られたことは、「他人を理解し尊重する」といったことである。この中には「自分の思っている事をしっかりと主張する」ことも含まれている。日本人は相手の気持ちを読み取って行動することが多いが、アメリカでは自分の思っている事を相手に伝えていかないと何もアクションは起こらないと思った。また、互いの意見を話し合う事でさらにいいアイデアが生まれるとも思った。そして、海外で働く事が目標である私にとって足りないものが明確になった実習でもあった。したがって、今回の渡航で知ることができた多様な考え方を理解し、これから世界で活躍できるグローバルな人材になることを目指して頑張っていきたいと思う。